



上除寮へ入寮しました

自分が上除寮に来てから約 2 ヶ月たちました。その前はサンスマイルの時に 2 年 8 ヶ月くらいいましたが、サンスマイルの時は食事作りに頭を悩ましてサンスマイルのスタッフから教えてもらっていましたが、その内だいたいの食事作りをおぼえたらほとんどの食事作りはワンパターンになりました。そして、上除寮に来てから、世話人から作ってもらっています。そのへんは考えなくてよいので楽です。この寮の近所に小さな男の子、女の子がいて自分は子供好きなので会った時などに手をふってやったりしています。そして、犬を飼っている家が多くて犬に口笛を吹いたりしています。

ボランティアさんの紹介

G.H.上除寮では 1 月より、月 1 回の予定でお茶会を始めました。最初苦いお茶だと不評かと思っていまして意外や好評で、何杯もお変わりする人が出る程です。また、栗林さん(お茶を立てて下さるボランティアさん)のお褒めの言葉で(普段見られない)全員が最低限のお茶のルールで美味しく頂いています。もちろんお菓子もちょっとお高い和菓子です。G.H.上除寮の中に少しでも社会の風を吹き込んでいただく為にも、月 1 回は栗林さんをお願いし、実施していきたいと思っています。



栗林さんより
上除寮からの依頼でお茶会を引き受けたもの、緊張せずリラックスして、一杯のお茶を美味しく飲んでもらえるか心配でした。でも、皆さんが小さな小さなお茶会を楽しみに待っていると聞き感激しました。これからも一杯のお茶を美味しく、美味しく飲んで貰えたらいいなと思っています。

ボランティアさん募集!!

もう少し暖かくなったら、G.H.上除寮の皆さんと一緒に関原の池田さんの指導を受け、ぞうり作りをしたいと考えていますが、作る前に材料作りが必要です。どなたかボランティアで手伝ってくださる方はご連絡お待ちしております。連絡先は... 0258-(46)-3116 (G.H.上除寮) 14時~17時の間にご連絡ください。



G.H.上除寮 H18年3月 1名 入寮
G.H. 虹 H17年3月 1名 退寮

Let's talk together!

メンタル通信

障害者自立支援法が始まり新年早々、制度の移行にのため、自立支援医療や居宅サービスの申請等で、ある意味煩雑な手続き申請を行って本当に大変だったと思います。

「当事者が地域で安心して暮らせるためのサービスって何だろう？」各関係機関でニーズ調査を行っているようですが、スタッフの受け取り方で利用者ニーズは変わってきます。

本当のニーズって何だろう？

今まで、地域で安定した生活を送るために必要だから利用していた場所(福祉サービス)が、今後、本来必要な福祉サービスが、利益を得ているからという「応益負担」は当事者達にとってかなりの負担に感じられます。本当に当事者それぞれが必要としている福祉サービスが公平に提供できる、あるいは確保されることが今後の課題だと思います。

当事者の本当のニーズに応じた福祉サービスが実施でき、また、当事者の方も自分のライフスタイルに合わせた福祉サービスの利用が今後ますます利用できるように福祉サービスが拡充してほしいと思います。

我々がこの利用しにくいといわれている「自立支援法」を利用しやすくしていく努力をすることと、制度に当てはめるのではなく、当事者一人ひとりに合わせたサービスを実施していくことが必要です。

通所授産施設 野いちご工房 施設長 君波和則



パレスタウンより食事が良いので喜んでおります。親元へ帰って、そこから働きたいです。

食事についてひとこと

朝夜の料理に野菜とバナナやりんご、オレンジ、いちごと果物がついて。夏には冷たい水やアイスキャンディやスイカを。秋にはさつまいものふかしたものをいただいています。パレスタウンにいた時は、店から買っていましたが今は店から買わなくとも良くなりました。



部屋にいてコタツ買ってもらって部屋が本当の家に住んでいるようで心地よいのですばらしい住まいだと思っています。

食事が美味しい。
交通の便も良い。
仮設住宅だが住み心地が良い。

とびが赤子を生んだように
おがむじれったさ
一日にかかりもったいなさに

ここに移ってから食事が出たのが嬉しかった。又一人部屋が嬉しかった。前の所より生活がやりやすい。駅も近いし良い。独立して水道・ガス・電気がある。便利だ。



G.H.虹のみんな



- ・ 冬期間にはボランティアが除雪に来てくれて大変助かりました。
- ・ 食事は前のパレスタウンよりも美味しく満足しています。
- ・ 火災報知機を設置してほしかった。
- ・ サポートセンターの方々には大変感謝しております。
- ・ 大変多くの方々に支えられて、とてもありがたく思っています。
- ・ 朝と晩の食事を作ってくれる人がいい人で喜んでます。

中越大震災のため、仮設住宅のグループホームに来ておよそ一年半。今まで住んでいたパレスタウンが大きく揺れ、一部損壊になって応急仮設住宅に来たわけですが、未だに余震があるわけです。グループホームに組みする我々精神障害者、兼生活保護は以前の生活よりずっとよく待遇されています。住宅費のない生活保護者ですから、お金のほうはあまりいただいておりません。ですが、食事のほうは物凄く良くなりました。とても信じられない感じがします。一つだけ気になることは、新しい住所です。長岡市内のどこに引っ越すのかとても心配ではありません。



G.H.虹

世話人 小野塚

彼岸も過ぎたというのに、今年は寒暖の差が大きく不安定な気候が続いています。

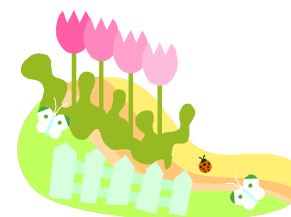
虹の皆さんは、仮設住宅での生活も一年半近くなるろうとしていますが、二年続きの大雪に大変な思いだったと思って、先日は皆さんに聞いてみたところ「交通の便もよくなり部屋も暖かくて、又、バス・トイレ付きでとても快適だ。」と意外な返答に私も少し安心しています。



二月の道路が凍った日に、病院へ行こうとしていた渋谷さんが滑って転倒され、頸椎損傷の大けがをされて虹には戻ることが不可能となって、3月31日付で退居されました。とても残念なことです。いくら仮設住宅が快適な暮らしだといっても、いつまでも住んでいられるわけではありません。また、鍵のかからない

部屋で共同生活をしている所では色々な問題も生じて大変です。一日も早く移転先が見つかり、全員一緒に元気で引越しが出来ますことを願っています。

G.H.上除寮 ~わたしの趣味は...~



遊びに来た
ハルカちゃんと
何を話しているのかな??

俳句
一段と雨降りになり 春間近
心にも 春の足音 響いてる
土が見え 春の甘さに 通せんぼ
【川柳】
ムギ吸う 春を待たずに 煙かな
貴方との 恋に落ちたい 私かな